

原朋直 trumpet
朝田拓馬 guitar
宮川純 piano

※マスクの着用を必ずお願いいたします。
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 08月07日 (土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(90分1ステージ小休止有) (1drink=600)

MC=3700円 +2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



朝田拓馬

父親の影響で12歳からギターを弾き始める。高校生の時にジャズに興味を持ち2005年洗足学園音楽大学ジャズコースに入学。インプロビゼーション、作曲、音楽理論を学び、卒業時には同校の音楽レーベルSGworksより、自作曲を含むアルバムが全国リリースされた。現在はギタリスト / ボイスパーカッショニストとして、Jazz, gospel, pops を中心に様々な現場でライブサポート、レコーディングを行っており、原朋直 (tp) グループのギタリストとしてこれまで2枚のアルバムに参加し自作曲も収録される。またビートメイカー、プロデューサーとしてアーティストへの楽曲提供も行なうなどジャズギタリストの枠にとらわれないマルチな活動を行っている。2018年には石原さとみ出演のTVCM、明治 the chocolate のバックミュージックをギター1本で演奏し好評を博す。

原朋直

1966年生まれ。大学在学中よりジャズの演奏活動を開始、卒業後、本格的に音楽の道へ進む。1990年代、日本ジャズ界に巻き起こった若手ミュージシャンによる一大ムーブメントの先頭に立ち活躍。1996年の初リーダー作『Evidence for My Music』以来、Co-leader作品も含め20枚以上のリーダー・アルバムを発表。その他、数多くのアルバム作品に参加する。自身の音楽活動以外にも『万人の第九コンサート』『佐渡裕ヤング・ピープルズ・コンサート』へのゲスト出演、テレビ番組『情熱大陸』への出演、北野武監督の映画『ブラザー』やNHK-BS『ワールドニュース』のオープニング・テーマの演奏、ヤマハのCMへの出演及び楽曲の提供、音楽番組『題名のない音楽会』への出演、兵庫芸術文化センター管弦楽団にゲスト1stトランペットとして参加するなど、様々なシーンで活動する。また、2018年にスタートした東京証券取引所を中心に展開する金融とジャズの融合イベント『Jazz EMP』では音楽監督を務める。海外のトップ・アーティストとも多くの共演を果たし、アメリカ、ヨーロッパ、アジアでのジャズ・イベントにも多数参加。現在も自己のユニット"原朋直グループ"(Tomonao Hara Group)を中心に活動し、また教育活動においては日本各地でのクリニックや音楽講座を展開中。洗足学園音楽大学教授ジャズコース代表。近年の作品：『Color As It Is』原朋直カルテット(2015年) / 『Time In Delight』原朋直グループ(2017年) / 『Dear J.C. ~ Dedicate to John Coltrane ~』原朋直 & 池尻洋史(2018年) / 『Circle Round』原朋直グループ(2020年)

宮川純

1987年生まれ、愛知県出身。音楽好きな父の影響で5歳よりエレクトーンを始める。高校卒業後、甲陽音楽学院名古屋校に進学。在学中よりnobodyknows+のレコーディングに参加するなど名古屋のシーンで頭角を表す。21歳でVictorよりメジャーデビュー。その後上京し、これまでに3枚のオリジナルアルバムを発表。3rdアルバム『The Way』(2015/T5 Jazz)は「日本のジャズ新時代を告げる重要作」と各メディアで高く評価される。これまでに大野雄二 & Lupintic 6、綾戸知恵、Keiko Lee、TOKU、黒田卓也、市原ひかり、ものんくる、大和田慧、Hanah Spring、IO(Kandytown)、kiki vivi lily など、大御所ジャズミュージシャンから新鋭アーティストまで幅広いシーンでのライブやレコーディングに多数参加。ピアノ、 Hammondオルガン、シンセサイザーなど多種多様な鍵盤楽器を高いレベルで同等に弾きこなす確かなテクニックと柔軟なセンスを併せ持つ気鋭のマルチキーボーディストである。